

<特集「受動表現」>

モンゴル語

温品 廉三

(ア) 「A は B に たたかれた。」

動詞の使役形で受身の意味を表す。

Dorj	Bat-a-d	zod-uul-san.
ドルジ	バト-E-DAT	殴る-CAUS-PAST

「ドルジはバトに殴られた。」

動詞 zod-「殴る」の受身形 zod-o-gd-は、この表現には用いない。

(イ) 「A は B に 足を 踏まれた。」

「ドルジは バトに 足を 踏まれた。」という事実を表現する文は、(イ)a.と(イ)b.が可能であるが、(イ)a.よりも(イ)b.のほうが自然な表現とみなされる。(イ)a.は、動詞の使役形で受身の意味を表した文。(イ)b.は、能動文。

a. Dorj Bat-a-d xöl-öö gišg-üül-sen.
ドルジ バト-E-DAT 足-REFL 踏む-CAUS-PAST
「ドルジはバトに足を踏まれた。」

b. Bat Dorj-iin xöl-iig gišge-sen.
バト ドルジ-GEN 足-ACC 踏む-PAST
「バトがドルジの足を踏んだ。」

(ウ) 「A は B に 財布を 盗まれた。」

「ドルジは バトに 財布を 盗まれた。」も、能動文を用いるのが自然。

Bat	Dorj-iin	türiivč-iig	xulgail-san.
バト	ドルジ-GEN	財布-ACC	盗む-PAST

「バトがドルジの財布を盗んだ。」

*仮に、下のような、使役形で受身の意味を表した文を作ると、母語話者にはきわめて不自然な言い方に感じられる。

* Dorj Bat-a-d türiivč-ee xulgail-uul-san.
ドルジ バト-DAT 財布-REFL 盗む-CAUS-PAST
(?? ドルジは バトに 財布を 盗まれた)

- (エ) 「きのうの夜、私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。」
迷惑の受身は、モンゴル語にはない。「赤ん坊」を主語にする。また、「赤ん坊が泣いて私は眠れなかった。」と、一つの文で言うのが自然な表現。

Öčigdör oroi xüüxed uil-aad bi unta-j čad-san-güi.
きのう 夜 子供 泣く-CV 私 眠る-CV できる-PAST-NEG
「きのうの夜、子供 (=赤ん坊) が泣いて、私は眠ることができなかった。」

- (オ) 「新しいビルが建てられた。」

(オ-1)

動詞の受身形を用いることが可能。ごく自然な文。

Šine barilga bari-gd-san.
新しい 建物 建てる-PASS-PAST
「新しい建物が建てられた。」

(オ-2)

ところが、「新しいビルが、ドルジによって建てられた。」となると、上の(オ-1)の文に機能的に「(人)によって」を表す語を入れることはできない。即ち、次のようには言えない。

* šine barilg-iig Dorj-oor bari-uul-san.
新しい 建物 ドルジ-INST 建てる-PASS-PAST
(?? 新しい 建物が ドルジによって 建てられた)

主語無し文にして、次のように言うことが可能。使役形を用いる。

Šine barilg-iig Dorj-oor bari-uul-san.
新しい 建物-ACC ドルジ-INST 建てる-PASS-PAST
(新しい建物を ドルジに 建てさせた.)

なお、この文は「ドルジさん」がその建物の所有者である場合の表現。もし、「ドルジさん」自身はその建物の建築作業をした場合は、「ドルジ」を主語にして次のように言う。

Šine barilg-iig Dorj bari-san.
新しい 建物-ACC ドルジ 建てる-PAST
(新しい建物をドルジが建てた.)

(カ) 「モンゴルでは モンゴル語が話されている。」
受身文を用いない。主語無し文で言うことが可能。

Mongol-d mongol-oor yar'-cgaa-dag.
モンゴル-DAT モンゴル語-INST 話す-COL-HAB
(モンゴルではモンゴル語で話している)

(キ)

(キ-1) 「財布が盗まれた。」

受身文を用いない。「財布を泥棒に失った」という言い方にするのが自然。「盗む」を表す動詞を xulgail- (名詞「泥棒」のは派生語) だが、この動詞の受身形 xulgaila-gd- を用いると、不自然な文になる。

Türiivč-ee xulgai-d ald-san.
財布-REFL 泥棒-DAT 失う-PAST
(財布をとられた.)

(キ-2) 「財布が A に 盗まれた。」

「財布がドルジに盗まれた。」は、動作主体を主語にして言うのが自然な表現。

Dorj türiivč-iig xulgail-san.
ドルジ 財布-ACC 盗む-PAST
(ドルジが財布を盗んだ)

なお、次のように連体修飾表現になる場合、受身形が使える。

Xulgailagd-san türiivč 「盗まれた財布」

(ク) 「壁に絵が掛けられている。」

xanan-d zurag ölg-öötei bai-na.
壁-DAT 絵 掛ける-RESULT ある-PRES
(壁に絵を掛けてある)

「掛ける」を表す動詞 ölgö-の受身形 ölgö-gd-は用いない。動作の結果が存在することを表す語尾形式-öötei を用いる。

(ケ) 「A は B に愛されている。」

(ケ-1) 「A は B に愛されている。」

受身表現にはしない。能動文で表現する。「ドルマーはドルジに愛されている。」は、動詞 xairla-「愛する」の受身形 xairla-gd-を用いず、次のように言う。

Dorj Dulmaa-g xairla-dag.
ドルジ ドルマー-ACC 愛する-HAB
(ドルジはドルマーを愛している)

(ケ-2) 「ドルジは土地の人に愛されている。」

「愛する」動作の主体が不特定多数の場合は、動詞の受身形が用いられ得る。(ケ-2)

には「敬う」の意の動詞を使うのがふつう。

Dorj nutg-iin-xan-d-aa xundele-gd-deg.
ドルジ 土地-GEN-COL-DAT-REFL 敬う-PASS-HAB
「ドルジは土地の人に敬われている。」

(2) 「A は B に ～と言われた。」

受身文を用いない。「B が A に ～と言った」の表現にする。「ドルジはバトに、あす来てくださと言われて」の自然なモンゴル語訳は次のようになる。

Bat Droji-d “Margaaš ir-eerei.” gej xel-sen.
バト ドルジ-DAT あす 来る-IMP ～と 言う-PAST
(バトがドルジに、あす来てくださ、と言った)

略号

ACC (Accusative case)／CAUS (Causative)／COL (Collective)／CV (Converb)／DAT (Dative case)／E (Epenthetic vowel)／GEN (Genitive case)／HAB (Habitual participle)／IMP (Imperative mood)／INST (Instrumental case)／NEG (Negative)／PASS (Passive)／PAST (Past)／PRES (Present)／REFL (Reflexive)／RESULT (Resultative)